

## 平成 30 年度 愛媛県立医療技術大学 実践セミナー

盛夏の候 皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度、以下の要領にて愛媛県立医療技術大学 実践セミナーを開催することとなりました。

LBC 法は現在、子宮頸がん検診での標本作製法として多くの施設において使用されつつあります。しかし、作製した標本は従来法と異なる細胞の見方が求められるため、従来法での細胞像の見方を基本に、新たな見方を習熟する必要があります。そこで、愛媛県立医療技術大学 実践セミナーでは細胞検査士として第一線でご活躍中の梅澤 敬先生(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター病院病理部)に代表的な LBC 法である BD シュアパス法での子宮頸部細胞診(扁平上皮系および腺系)を主体として、子宮内膜(EGBD・特殊タイプを含む)、FNAC(膾・甲状腺・唾液腺・リンパ節)、擦過(口腔・ERCP 下擦過細胞診)も加えた講義および顕微鏡実習をお願いしました。

多くの細胞検査士および臨床検査技師の方々のご参加をお待ち申し上げます。

### 記

- 日時** : 平成 30 年 9 月 15 日(土) 12:00 ~17:30
- 場所** : 愛媛県立医療技術大学 北棟 1 階 115 講義室(講義)および 5 階 560 実習室(実習)  
愛媛県伊予郡砥部町高尾田 543(<http://www.epu.ac.jp/accessmap.html>)
- プログラム** : 講義 梅澤 敬 先生 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 病院病理部)  
「液状化細胞診によるチェンジマネージメント  
～擦過・穿刺吸引細胞診をシステムで保証する～」  
澤野 真理子 先生 (日本ベクトン・ディッキンソン株式会社  
ダイアグノスティックシステム事業部)  
「子宮頸がん検診における HPV 検査の現状」  
顕微鏡実習  
(詳細は別紙参照)
- 募集人数** : 講義と実習 40 名
- 参加費** : なし
- 実施責任者** : 則松 良明 愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学科  
〒791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田 543  
Tel; 089-958-2111 E mail; ynorimatsu@epu.ac.jp
- 主催** : 愛媛県立医療技術大学
- 申し込み要領** : 平成 30 年 7 月 14 日 0:00 より受付開始  
参加を希望されます方は、下記 URL よりお申込下さい  
[http://www.epu.ac.jp/regional\\_exchange/kouza/taishou3.html](http://www.epu.ac.jp/regional_exchange/kouza/taishou3.html)



(別紙：平成 30 年度 愛媛県立医療技術大学 実践セミナー)

●愛媛県立医療技術大学 実践セミナー プログラム

9月15日(土曜)

12:00～ 受付 北棟1階入り口

12:40～13:00 挨拶・オリエンテーション(則松)

13:00～14:10 講義 梅澤 敬 先生 (東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 病院病理部)  
「液状化細胞診によるチェンジマネジメント  
～擦過・穿刺吸引細胞診をシステムで保証する～」

14:10～14:20 休憩

14:20～14:40 講義 澤野 真理子 先生 (日本ベクトン・ディッキンソン株式会社  
ダイアグノスティックシステム事業部)  
「子宮頸がん検診における HPV 検査の現状」

14:40～14:50 休憩

14:50～16:00 顕微鏡実習 (70分)

16:00～16:10 休憩

16:10～17:20 顕微鏡実習 (70分)

17:20～17:30 挨拶・解散(則松)

\* 講義は150階段教室, 実習は560実習室